

住宅トレンド情報発信用リーフレットを作成

一般社団法人住宅生産団体連合会の政策委員会委員会 I o T 検討 P T (座長：吉田 元紀 積水ハウス株式会社) では、以下の状況を踏まえ、これからの住宅のトレンドをわかりやすく解説をした情報発信ツールを作成いたしましたので、住団連ホームページにて公開いたしますとともに、広くご活用いただきますようお願いし、ご案内いたします。

◆住宅におけるエネルギー消費量が、世帯数の増加や、冷暖房での機器使用、給湯といったライフスタイルの変化などにより、家庭部門のCO₂排出量が、1990年比で約47パーセントの増加傾向にあっても、これまで住宅における省エネ化は、なかなか消費者(エンドユーザー)全体の理解を得るには至りませんでした。

しかし、こうした状況への有効な解決策の一つが、住宅での使用エネルギー見える化を含めた、ユーザーの住宅に対する省エネ行動への意識推進です。

断熱化や省エネ化による光熱費の削減といった積極的なメリットだけでなく、高断熱・高気密の住宅に住むことによる、健康で快適な暮らし・安心で楽しい暮らしといった間接的なメリットも明確に伝えていくことに加え、省エネに優れた住宅に、創エネ・蓄エネ技術を取り入れ、これを巧みにコントロールするIT技術に加え、住い手の省エネ行動が作り出す、「健康・快適」「安心・安全」を備えた未来志向の住宅の方向性を広く理解していく必要があります。

◆リーフレットタイトル

~~~これからの住宅のトレンド~~~

## ZEH・HEMS・IoT住宅で省エネ快適な住まいに

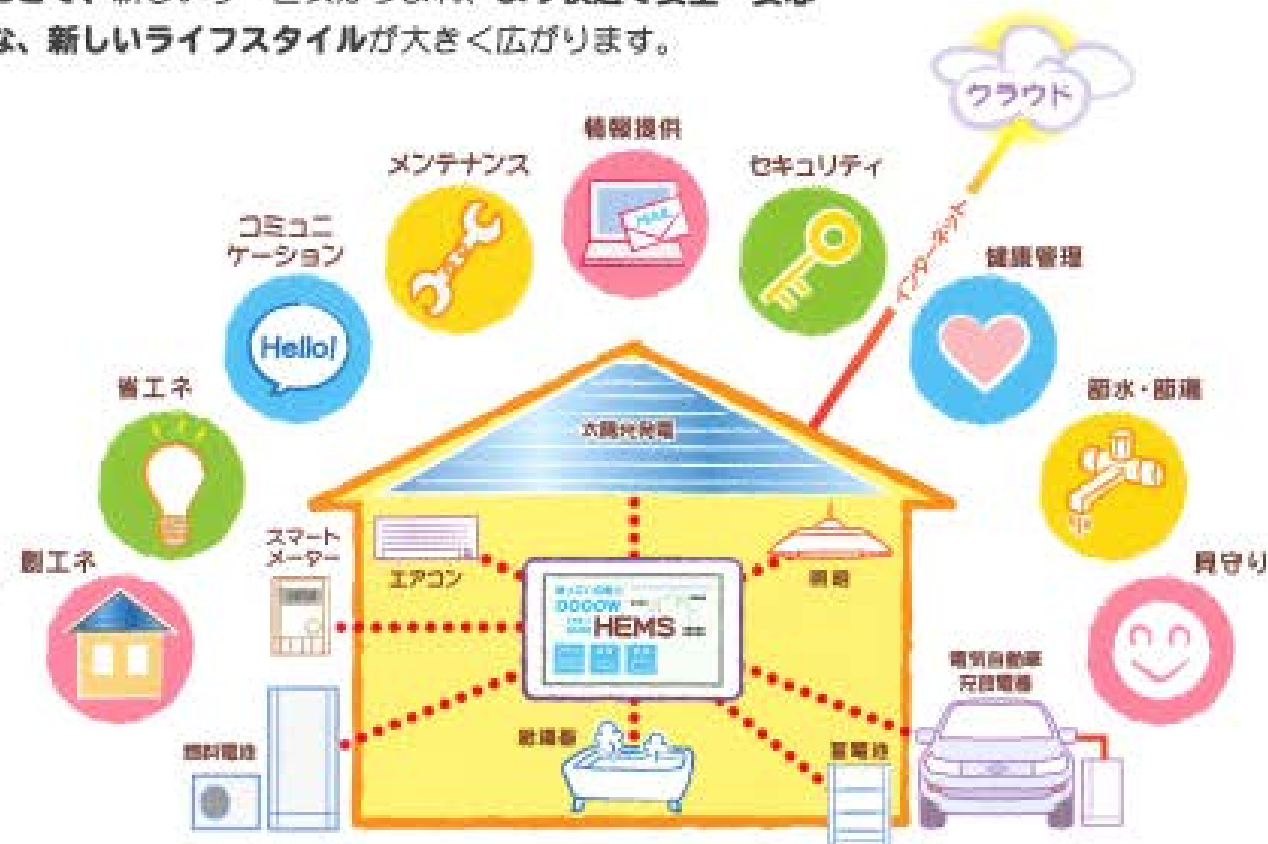
The image contains four panels of information:

- Panel 1: IoT住宅の目指す姿**  
Explains the goal of IoT homes, which is to use IoT devices to monitor and control energy consumption, leading to more efficient and comfortable living. It mentions the use of smart meters and sensors.
- Panel 2: これからの住宅のトレンド**  
Introduces ZEH (Zero Energy Home), HEMS (Home Energy Management System), and IoT as key trends. It states that by 2020, ZEH is expected to be adopted by 50% of new residential buildings. It also defines ZEH as a home that can generate and use energy efficiently.
- Panel 3: HEMS (Home Energy Management System) を 2030年全世界導入へ**  
Describes HEMS as a system that manages energy usage in real-time. It highlights that HEMS can reduce energy costs by up to 10% and is expected to be widely adopted globally by 2030.
- Panel 4: IoT (Internet of Things) 住宅は 家ごとつながるこれからの住まい**  
Explains that IoT homes allow for remote monitoring and control of energy usage. It notes that IoT homes can reduce energy costs by up to 10% and are expected to become the standard for future homes.

※別紙リーフレット原稿をご活用いただき、皆様への普及推進をお願いします。

## IoT 住宅の目指す姿

HEMS を活用した IoT 住宅は、太陽光発電や蓄電池、エアコンなどの様々な住宅設備がインターネットとつながることで、新しいサービスが生まれ、より快適で安全・安心な、新しいライフスタイルが大きく広がります。



## IoT 住宅を実現する「ECHONET Lite™」

一戸の住宅で、全ての設備、家電が同じメーカーとは限りません。IoT 住宅を実現するためには、異なるメーカーの機器が、同じ「ことば」を使って通信する必要があります。

2012年に政府は、HEMS における公知な標準インターフェース（同じ「ことば」として、「ECHONET Lite (エコネットライト)」を推奨しました。現在、ルームエアコンなど、年間200万台を超えるECHONET Lite 対応製品が市場に出荷されています。

また、2015年より、全国で取り付けが始まったスマートメーターも、ECHONET Lite 対応です。



これからの住宅のトレンド

# ZEH・HEMS・IoT 住宅で

省エネで 快適な 住まいに



2020年 ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) を  
新築戸建住宅の過半数へ\*

## 家庭にも省エネが求められている

COP21 (国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)において、日本は2030年度までに温室効果ガス排出量の26%の削減(2013年度比)を公約しました。家庭部門においては、約39%の削減が求められています。

## ZEH (ゼッチ) とは?

快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備により、できる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電などによりエネルギーを創ることで、1年間で消費する住宅のエネルギー量が、正味(ネット)で、概ねゼロ以下になる住宅のことをいいます。



\* 経済産業省「エネルギー基本戦略」より



# HEMS (Home Energy Management System) を 2030 年全世帯導入へ\*

## HEMS (ヘムス) とは？

Home Energy Management System (ホーム エネルギー マネージメント システム) の略で、**家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム**です。

HEMS を設置した ZEH の住宅では、HEMS によって、きめ細やかな電気の使用量が把握でき、省エネ目標の設定も可能で、家計にも環境にもやさしい暮らしができます。

**HEMSで  
できること**

### エネルギー使用量の 見える化

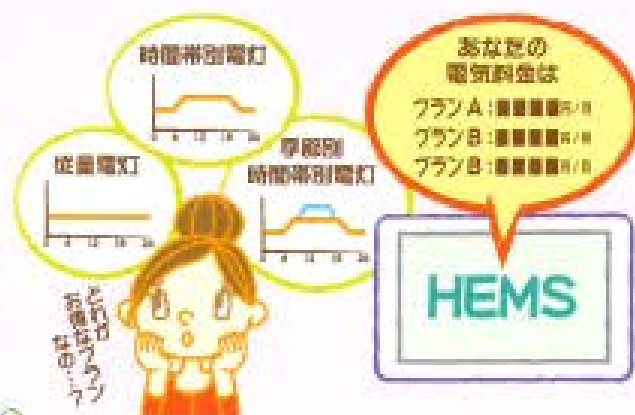
電気やガスのエネルギーの  
日々の使用量や料金が、一  
目で分かる

### 家電・住宅設備をかしこく 最適に自動制御

エネルギーの効率的な利用  
のために、家電・住宅設備  
を自動制御

## 料金プラン選びにも役立つ！

HEMS では、「スマートメーター」や「分電盤」などで、住宅内のエネルギー使用パターンをしっかり把握し、データも保存できます。そのため、様々な電力料金プランの選択や変更にも役立ちます。



\*経済産業省資源エネルギー庁「長期エネルギー需給見通しにおける省エネルギー対策及び省エネ量の算定方法について」より



# IoT (Internet of Things) 住宅は 家ごとつながるこれからの住まい

## IoT (アイオーティー) とは？

これまでは、インターネットには、パソコン、タブレット、スマートフォンがつながって、情報をやり取りしていました。

しかしこれからは、**エアコン、インターホンなどの“モノ”もつながっていきます。**これが IoT (Internet of Things) で、**IoT を活用した情報化住宅が「IoT 住宅」**です。IoT 住宅は HEMS のデータや地域情報と連携し、様々なサービスを提供します。

### エアコン・LED 照明 給湯器などを スマートフォンで 遠隔操作

外出先からスマートフォンで、エアコンや LED 照明、給湯器などを操作できます。夏の暑い日や冬の寒い日に、帰宅時に快適な室内環境をつくる  
ことができます。給湯器では、  
外出先からお風呂の自動湯はり  
ができます。

### 外出先であわてなくて大丈夫 玄関の施錠確認

玄関の鍵を施錠したかどうか、外出先からスマートフォンを使って確認できます。

### 留守中の来客も分かる！ インターホン来客通知

外出時に来客があった場合、スマートフォンに通知と画像を一緒に送って知らせます。在宅時には、手元のスマートフォンやタブレットで訪問者と通話できます。

これからの住宅は  
IoT を活用した  
生活を豊かにする  
安心・安全・便利な  
サービスを  
実現していきます。

